

「加齢によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」の違い（一例）

	加齢によるもの忘れ	認知症によるもの忘れ
体験したこと	一部を忘れる 例) 朝ごはんのメニュー	全てを忘れている 例) 朝ごはんを食べたこと自体
もの忘れの自覚	ある	ない（初期には自覚があることが少ない）
日常生活への支障	ない	ある
症状の進行	極めて徐々にしか進行しない	進行する

政府広報オンラインより引用—https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201308/1.html



認知症の原因となる主な病気

アルツハイマー型認知症

いちばん多い認知症です。脳内で異常なたんぱく質がつくれ、脳の細胞の動きが少しずつ失われて死んでいき、脳が萎縮して機能が全般的に低下していきます。脳内の変化は、記憶障害など具体的な症状が出る何年も前から起きているといわれ、徐々に進行していきます。早期の発見が重要です。

症状や傾向

- ゆっくりと症状が進行する。
- 新しいことを覚えられない。
- 少し前の体験をすっかり忘れる。
- 道具がうまく使えず、家事が段取りよくできなくなる。
- 判断力が低下する。
- 道に迷い、家に帰ることができなくなる。

前頭側頭型認知症

脳の前頭葉と側頭葉が病気の中心として進行していき、同じ行動パターンを繰り返したり、周囲の刺激に反応してしまうなどの行動の変化が目立つ「行動障害型」と言葉の障害が目立つ「言語障害型」があります。

症状や傾向

- 万引きや信号無視などをくり返す。
- 失礼な発言をしたり、暴力的になったりする。
- 身だしなみに気がつかなくなる。
- 毎日同じところへ出かける。
- 同じ料理を毎日食べ続けたり(偏食)、食べすぎたり(過食)する。

レビー小体型認知症

脳内に「レビー小体」という特殊な物質が蓄積された結果、脳の細胞が損傷を受けて発症する認知症です。手足のふるえ、筋肉の硬直などの症状や、もの忘れとともに生々しい幻視(その場にはないものがあるように見える)があらわれるのが特徴です。アルツハイマー型認知症より比較的早く進行します。

症状や傾向

- 機能低下が全般的に進み、動きが遅くなる。
- 症状の良いときと悪いときの変化が大きい。
- 幻視・幻聴。
- 夜中に大声を出す、動き回る。
- 身近な人を別人と誤認する。

血管性認知症

脳梗塞や脳出血といった脳血管障害によって、一部の神経細胞に栄養や酸素が行き渡らなくなり認知症をきたすものをいいます。脳血管障害を起こした場所により症状は異なりますが、まひなどの体の症状を伴うことが少なくありません。

症状や傾向

- 再発のたび段階的に進行する。
- 画像診断で梗塞などの病巣が確認できる。
- やる気がなくなる。
- 感情が抑えられない。
- 段取りが悪くなり、料理が作れなくなる。

※他の病気や薬の影響などで、認知症のような症状があらわれる場合もあります。また、認知症とよく似た状態(うつ、せん妄)や、認知症の状態を引き起こす体の病気もいろいろあるため(甲状腺機能低下症など)、早期に適切な診断を受けることは大切です。

医療・介護



オレンジチームもりぐち (認知症初期集中支援チーム)

もの忘れや、気がかりな行動など、気になる様子が見られたらオレンジチームもりぐちがサポートします。

認知症は初期の対応が大切です。

オレンジチームもりぐちって？

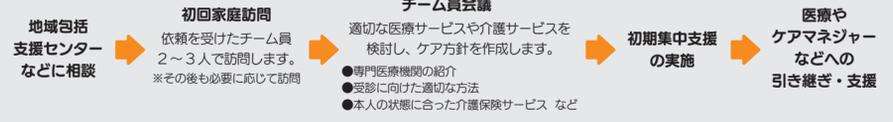
医師(サポート医)と医療・介護(看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員等)の専門職で構成している3人以上のチームです。

実施体制

どんなことをするの？

チーム員が認知症の方(疑いのある方)や、その家族を訪問して、認知機能の状態による困りごとや心配なこと等と一緒に確認して、早期対応のための相談に応じます。医療機関受診や介護保険サービス利用、家族への支援等の初期支援を包括的・集中的に行います。

相談から支援までの流れ



地域包括支援センター

地域包括支援センターは地域で暮らし高齢者やそのご家族等を、介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から総合的に支えるために設置された「高齢者の総合相談窓口」です。

オレンジチームもりぐち(認知症初期集中支援チーム)の相談窓口でもあります。

*概ね小学校区単位を基本に生活圏を設定していますので、境界上の地域では同じ町であっても生活圏域が異なる場合があります。

施設名	所在地	電話	小学校区名
守口第1地域包括支援センター	大久保町 3-30-21	06-6904-8900	よつば(旧大久保・旧東・梶・藤田・八雲東(※大日東町1番~10番))
守口第2地域包括支援センター	大日町 1-11-11	06-4393-8401	庭窪・金田・佐太
守口第3地域包括支援センター	八雲中町 3-13-17	06-6908-2808	八雲(旧八雲・旧下島)
守口第4地域包括支援センター	京阪本通 2-5-5	06-4250-7878	守口・八雲東(※1番~10番を除く)・ざつぎ(旧滝井)
守口第5地域包括支援センター	大宮通 1-13-7	06-6992-1180	ざつぎ(旧春日)・さくら(旧三郷・旧橋波)
守口第6地域包括支援センター	南寺方南通 3-4-13	06-6997-3336	寺方南(旧寺方・旧南)・錦

若年性認知症コールセンター

0800-100-2707

●相談日・時間(年末年始・祝日は除く)
月~土曜日 10:00~15:00 ただし水曜日 10:00~19:00

ひとりで悩んでいませんか
若年性認知症のことを知ってください
同じ方向を向いて一緒に考えましょう
お気軽にコールセンターまでお電話を

詳しくは **若年性認知症コールセンター**



守口市シンボルキャラクター「もり吉」

守口市健康福祉部高齢介護課

〒570-8666 守口市京阪本通 2-5-5 TEL 06-6992-1610

2024年9月発行

もしかして認知症？

簡易版 Vol.3

もの忘れ？

認知症？

一緒に楽しめる友達は
いないかな？

道が
わからなくなった

もの忘れが
あって認知症が
心配…

こんな時、
どうしたら良いの？

認知症の
診断や治療って
どんなこと
するのかな？

心配しないで！大丈夫ですよ！

～安心してすごせるまち守口～

守口市健康福祉部高齢介護課

もっと認知症を知ろう

認知症は脳の
病気です

「認知症」とは、様々な脳の病気により、脳の神経細胞の動きが徐々に低下し、認知機能(記憶力、判断力など)が低下して、社会生活に支障をきたした状態をいいます。年をとればだれでも、思い出したいことがすぐに思い出せなかったり、新しいことを覚えるのが困難になったりしますが、「認知症」は、このような「加齢によるもの忘れ」とは違います。

もしかしたら
認知症かも？

簡単にセルフチェックしましょう！

当てはまった項目に チェックを付けてください

1 <input checked="" type="checkbox"/> 物や人の名前が すぐに出ないことがある	2 <input checked="" type="checkbox"/> 同じことを 何度も言ったり聞いたり すると指摘される	3 <input checked="" type="checkbox"/> 鍋のこがしや お風呂の沸かしすぎ などが増えた	4 <input checked="" type="checkbox"/> 日にちや曜日が 分らないことが よくある
5 <input checked="" type="checkbox"/> 口数が減ったり、 ぼそぼそ話したり するようになった	6 <input checked="" type="checkbox"/> 体の動きがいいときと、 悪いときがある	7 <input checked="" type="checkbox"/> 過去に脳卒中に なったことがある	8 <input checked="" type="checkbox"/> 家や部屋に 閉じこもることが 多くなった
9 <input checked="" type="checkbox"/> 新聞やテレビを 見なくなった	10 <input checked="" type="checkbox"/> ささいなことでも怒り、 暴言を言うようになった	11 <input checked="" type="checkbox"/> 常識やルールを守れずに、 自分勝手な行動を とってしまう	12 <input checked="" type="checkbox"/> 人と話していても、 相手の話が 理解できない

※1個でもチェックが入った項目がある場合は、予防のためにも一度専門医(もの忘れ外来等)に受診してみてもいいかもしれません。※セルフチェックはあくまでも受診の目安です。診断などには当たりません。ご注意ください。

認知症の症状とケアの流れ

認知症は少しずつ進行し、症状が変化してきます。家族や周囲が認知症を理解し、進行に合わせて対応していくことが大切です。

(原因疾患や身体状態によって経過が異なりますので、今後の介護の目安としてください。)



本人

あれ...? もの忘れが気になる (発症する) 時期

もの忘れがかな...?

何を話そうと 思っていたのかな?

人の名前や 物の名前が 思い出せない

- もの忘れが見られ、人の名前や物の名前が思い出せない
- 会話の中で「あれ」「それ」などの代名詞がよく出てくる
- 積極性がなくなり、人との付き合いや趣味、習い事などから足が遠のく、あるいは理由をつけて休もうとする

そろそろ見守りが必要

どこに 置いたかな?

火を消したかな?

- 集合の時間を間違えたり、約束したことを忘れたりする
- 同じことを何度も聞く
- 今まで出来ていた料理や掃除などの家事の段取りが悪くなる
- 火の消し忘れがある
- 薬を飲み忘れる
- 置いた場所がわからなくなる
- 同じ物を何度も買ってしまう
- ものを盗られたと訴える

本人の 気持ち... もの忘れによる失敗や、今までできていたことが上手いかなくなるのが徐々に多くなり、不安感やイライラが多くなっていく

見守りがあれば日常生活は自立

道がわからなくなった

触らんとってくれ

本人の 気持ち... 自分をもっと、よく見てほしい

- たびたび道に迷う
- 落ち着きがなくなる
- 季節にあった服が選べない
- トイレの場所を間違えて排せつする
- 買い物やお金の管理にミスが目立つ
- すぐに怒る
- 勘違いや誤解が多くなる
- 着替えや入浴などを嫌がる
- 家族や近隣とのトラブルが増える

常に手助けが必要

起きられるかな

おいしいわ

本人の 気持ち... 自分らしさを尊重してほしい

- 歩行が不安定になる
- 着替えの動作ができない
- 声かけや介護を拒む
- 尿意や便意を感じにくくなる
- 飲み込みが悪くなり、食事に介助が必要となる
- 言葉によるコミュニケーションが難しくなってくる
- 表情が乏しくなり言葉が減る
- ほぼ寝たきりの状態となる

家族

「おかしい」「いつもと違う」と思ったときには 早めにかかりつけ医や地域包括支援センターに相談する

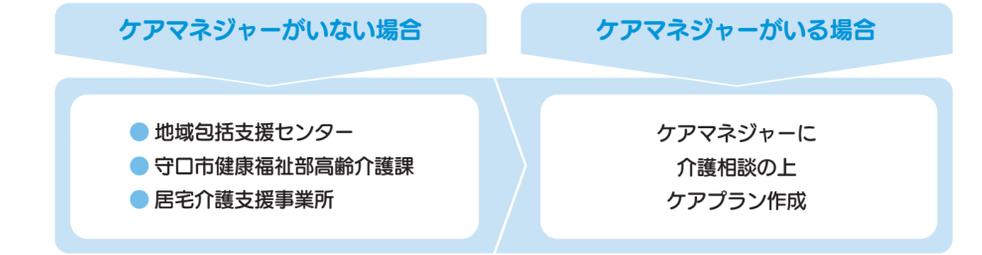
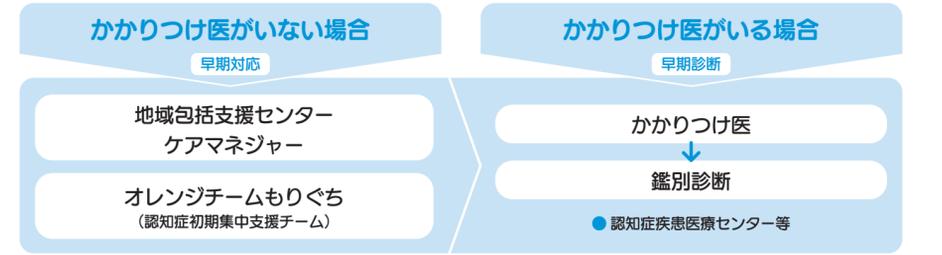
可能であれば本人も交えて 家族間で話し合っておく

- 抱え込まずに上手に介護サービスなどを活用する
- 今後の金銭管理や財産管理について
- どのような終末期を迎えるか など

- 接し方や介護、医療について勉強しておく
- 本人の役割を全てとらげず、出来ることはしてもらおう
- 本人が失敗しない環境づくりに配慮する

介護する家族の 休息も大切に

- 全て抱え込まずに上手に介護サービスなどを多様に活用する
- 家族の会などで話を聞いたり、自分の気持ちを話せる場所を作る



対応の仕方などにより 行動や心理的な反応が 変わります。

1 専門家などに相談してみるのも 良いかもしれません。

上手にショートステイを利用してみましょう

在宅生活を続ける中で一時的に宿泊を伴う介護サービスで「要支援」「要介護」と認定された方が利用できます。介護者が冠婚葬祭の場合や旅行など出かけたいとき、介護者が体調を崩してしまったり、介護者が介護をひと休みしたいときなどに利用して家族の負担を軽減しましょう。ケアマネジャーに相談して早めの予約を心掛けましょう。

交流

- シルバー人材センター
- 介護予防教室
- 老人クラブ
- 通いの場
- 認知症カフェ など

病院

- もの忘れ外来
- 精神科
- 認知症疾患医療センター
- 神経内科 など

地域との交流・介護予防など

在宅での 暮らしを支える

- 高齢者見守りシール交付事業 (どこシル伝言板)

あらかじめ登録された高齢者の衣服等に貼ったQRコードを読み取るだけで、ご家族、市へメールが送信されます。QRコードの読み取りと、パソコンや携帯電話からアクセスできる伝言板を利用することにより、個人情報を開示することなく、24時間検索が可能です。
- 徘徊探知機購入補助金交付事業

徘徊行動が見られる認知症の高齢者等を同居等により介護している家族に対して、認知症の高齢者等の行方わからなくなった場合において、早期に発見するために必要な探知機器 (GPS) 購入時にかかる費用を助成する事業です。

自宅での 活用

- 訪問看護
- 訪問リハビリ
- 薬の相談、管理
- 訪問介護

家族への サポート

- 家族介護教室 (地域包括支援センター)
- 介護者(家族)の会
- 守口市紙おむつ給付事業

通いでの 活用

- デイサービス
- 認知症対応型デイサービス
- 小規模多機能型居宅介護 など

介護保険サービス・高齢者福祉サービスなどを利用

施設

- 特別養護老人ホーム
- 老人保健施設
- グループホーム
- 有料老人ホーム など